

# 令和4年度 事業報告書

## 1 東三河スタートアップ推進協議会の目的

東三河地域において、スタートアップ支援に係る様々な活動を行っている事業会社、大学、行政機関等により構成される東三河スタートアップ推進協議会は、地域発のスタートアップの創出と、地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成を目的とする。

## 2 令和4年度の目標

本協議会発足後、支援拠点を中心に議論を重ねる中で、地域のスタートアップ・エコシステムの構築上の課題が可視化されてきている。そこで、本年度は次の3つの目標を立て、各支援機関や本協議会会員と連携するとともに、愛知県広域エコシステム形成統括マネージャーの支援を受けながら事業を実施した。

- (1) 東三河地域のスタートアップ・エコシステムの拡充
- (2) スタートアップ起業家へリソースや資金の提供ができる共創型のコミュニティづくり
- (3) 各支援機関が実施する事業との連携（共催、後援など）

## 3 令和4年度の運営体制

上記目標を達成するため、本協議会会員のリソースや東三河地域の持つ強みを活かして、広域で起業家を発掘・育成・誘引するため、本協議会の総会を開催するとともに、事業管理者及び実務担当者で構成される運営部会を開催した。また、昨年度から実施している実務担当者等による6つのプロジェクトを実施した。

### (1) 総会の開催

会則の変更等、当該年度の活動、本協議会の運営に関する重要事項について議論

<構成員>

事業責任者…各会員を代表する者

### (2) 運営部会の開催

6つのプロジェクトの推進及び進捗確認、承認等

<構成員>

事業管理者…各会員組織の上層部と実務担当者を繋ぐために重要な役割を担っている管理職など

実務担当者…各会員組織の実務を担当する者

### (3) 6つのプロジェクトの推進

- ①Higashi Mikawa UPPERSプロジェクト
- ②東三河8市町村実証実験サポートプロジェクト
- ③東三河地域共創プロジェクト
- ④スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）
- ⑤大学連携プロジェクト
- ⑥東三河共創促進に向けた仕組化・可視化、情報発信・PRプロジェクト

## 4 令和4年度の主な取り組み

### (1) 総会及び運営部会の開催

#### ①総会の開催

##### <第1回>

- ・開催日 令和4年5月9日
- ・会場 豊橋サイエンスコア
- ・内容 令和3年度事業報告、令和4年度事業計画など

##### <第2回>

- ・開催日 令和4年12月9日
- ・会場 emCAMPUS STUDIO
- ・内容 運営部会及びプロジェクトの体制、プロジェクトの活動報告など  
海老根氏による講演会  
「エンジェル投資を通じた地域活性化について」

#### ②運営部会の開催

##### <事業管理者による運営部会>

- ・開催日 令和4年9月8日、11月10日、12月1日
- ・内容 総会等資料の確定、各プロジェクトの進捗報告

##### <実務担当者による運営部会>

- ・開催日 令和4年9月15日～ 週1回程度
- ・内容 総会等資料の原案作成、各プロジェクトの進捗共有、後援、共催等申請の承認

### (2) プロジェクトの実施

#### ① Higashi Mikawa UPPERSプロジェクト【週1回程度】

Higashi Mikawa UPPERS コミュニティは地域・団体を越えて、起業家と支援者による共創参加型コミュニティとして、オンラインでの活動を中心に、起業・新規事業の創出や、支援文化の醸成、起業家と支援機関とのネットワークの創出などに取り組んだ。

○プロジェクトメンバー 9名

○主な取組内容

【第1期】Higashi Mikawa UPPERS（令和4年2月～4月）

- ・プロジェクト数…19
- ・活動報告&交流会Meet-UP  
開催日 令和4年5月17日  
会場 emCAMPUS STUDIO及びオンライン  
参加者 60人以上（オンライン含む）

【第2期】Higashi Mikawa UPPERS（令和4年6月～9月）

- ・プロジェクト数…15
- ・活動報告&交流会Meet-UP  
開催日 令和4年10月12日  
会場 emCAMPUS STUDIO及びオンライン  
参加者 78人（オンライン含む）

【第3期】Higashi Mikawa UPPERS（令和4年11月～令和5年2月）

- ・プロジェクト数…21
- ・活動報告&交流会Meet-UP  
開催日 令和5年3月2日  
会場 サイエンスホール及びオンライン  
参加者 61人（オンライン含む）

○KPIの達成状況

本プロジェクトにおけるKPIは、定点（各期）における数値を計測

【第3期の状況】

- ・誘導、ユーザー獲得  
facebookグループ投稿数…30件  
同リアクション数…3,172件  
同閲覧者数…20,543件
- ・活性化・情報の提供  
定例交流会等の延べ参加者数…223人
- ・継続、リピーター化  
プロジェクトの数…21プロジェクト
- ・具体化、深化  
プロジェクトのフェーズ進捗…3プロジェクト
- ・エコシステムメンバーの拡大  
参加した延べ応援者数…94人

○成果

- ・UPPERSへの継続的な参加により、アイデアが形になり実証段階に進むなど、起業や新規事業の創出の場となった。

- ・実証実験を実践する場として認知されるなど、支援文化の醸成に繋がっている。
- ・新たな起業家や支援者が増え、起業家と支援機関とのネットワークの創出に繋がった。

## ② 東三河8市町村実証実験サポートプロジェクト【週1回程度】

東三河内でスタートアップが実証実験等を実施するため、東三河の市町村にスタートアップの事業を紹介する場所を設置し、そこから、実証実験等に向けて動き出すまでの支援に取り組んだ。また、東三河の市町村が実施または参画する実証実験等の事業について、本プロジェクトにおいても支援に取り組んだ。

○プロジェクトメンバー 8人

○主な取組内容

- ・スタートアップの事業を紹介する場所の設置…10回
- ・東三河の市町村等とスタートアップのマッチング支援を行った件数…20件

○KPIの達成状況

- ・東三河でスタートアップがヒアリングや実証実験を実施した市町村数及び件数  
5市町村10件 → (実績) 2市町村5件

○成果

- ・スタートアップが東三河で説明する場ができた。
- ・愛知県や「PRE-STATION Ai」から東三河の地域性に合ったスタートアップを紹介いただくなどにより、東三河への問い合わせが増えた。
- ・実証実験に向けて動き出している取り組みも出てきた。

## ③ 東三河地域共創プロジェクト【週1回程度】

東三河の事業会社と起業家・スタートアップとの接点や、事業会社とスタートアップの関わり方、資金調達の方法などを知る機会として、豊橋市や東三河広域連合の事業と連携し、ピッチイベントや交流会等を開催した。

○プロジェクトメンバー 7人

○主な取組内容

- ・ピッチイベント&交流会…2回
- ・スタートアップと地域の事業会社がオープンイノベーションを進めるための勉強会…4回
- ・起業家育成やエンジェル投資を知るトークセッション…2回

○KPIの達成状況

- ・コミュニティ名簿 150人 → (実績) 165人

<定義>

今年度実施する勉強会・交流会に参加し、意志を示して頂いた方

○成果

- ・スタートアップと事業会社の接点、共創の場を設置することができた。

- ・参加者が、スタートアップを目指すために必要な知識を得ることができた。
- ・本プロジェクトと連携し、豊橋商工会議所による新たな支援体制の仕組みが創設された。

#### ④ スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）【随時】

スタートアップ・エコシステムをテーマとした勉強会を企画・運営した。

○プロジェクトメンバー 企画・運営した各プロジェクトのメンバー

○主な取組内容

- ・起業家のための雇用労働相談勉強会を開催 ※オンライン開催  
愛知県雇用労働相談センターの講師による、スタートアップを支援する側が知っておくべき雇用、労働相談に係る勉強会

開催日 令和4年7月4日

会場 emCAMPUS STUDIO

参加者 7人

○成果

- ・起業とはまた違い、スタートアップという視点で押さえておくべき知識を得ることができた。

#### ⑤ 大学連携プロジェクト【週1回程度】

東三河や大学における研究シーズの社会実装、起業家育成を強化するため、(株)サイエンス・クリエイト及び株式会社リバネスと連携し「超異分野学会豊橋フォーラム」を開催し、本イベントを契機にプロジェクトを組成し、地域を実証フィールドとして共同研究等に向けた支援に取り組んだ。

○プロジェクトメンバー 9人（うち、会員外事業会社5名）

○主な取組内容

- ・超異分野学会豊橋フォーラム

開催日 令和4年12月17日

会場 豊橋サイエンスコア

参加者 135人

○KPIの達成状況

- ・研究シーズを活用したプロジェクト案  
20件 → (実績) 41件
- ・フォーラム開催 1回 → (実績) 1回

○成果

- ・東三河にはこれまでいなかった研究者や事業会社を集めて議論できる場を設置し、目標の2倍となる41件の研究シーズ案を発掘することができた。
- ・地域の特徴や課題を的確に捉え、新産業を生み出す仕組みを新たに整備することができた。

- ・東三河内外の新たな人脈形成に繋がった。

#### ⑥ 東三河共創促進に向けた仕組化・可視化、情報発信・PRプロジェクト【週1回程度】

東三河の各団体が相互理解を深め有機的に連携するとともに、共創促進を加速させるため、市町村、団体、事業会社、業界の枠を越えて連携できる仕組みづくりに取り組んだ。

また、必要な情報を分かりやすく可視化したコンテンツの発信や、各市町村や団体からではなく東三河全体としての情報発信、PRの強化に取り組んだ。

○プロジェクトメンバー 5人

○主な取組内容

- ・本協議会の会員が実施する事業や各プロジェクト活動の発信
- ・主催/共催/後援ルールの策定及び運用
- ・新規会員に向けてのオンボーディングの構築及び運用
- ・本協議会参加希望の方に向けての交流の場（オープンプレイス）の構築及び運用
- ・SNS（facebook、note、YouTube）を活用した情報発信
- ・やしの実FMによるラジオ配信 など

○成果

- ・本協議会の取り組みを会員内で共有する仕組みと、東三河外に発信する仕組みが構築された。
- ・本協議会内における様々なルールを可視化し、適正な運用を図ることができた。
- ・スタートアップが必要としている情報を迅速かつ的確に発信することができた。

#### （3）本協議会会員が実施する事業との連携

emCAMPUS STUDIO、CLUE、StartupGarageなどの支援機関や、豊橋市及び愛知県などの行政機関、その他会員が実施する事業と連携し、団体間を越え東三河が一体となった活動を展開した。

#### ①東三河スタートアップ・エコシステム共創カイギ【2023/2/16】

<共催> 愛知県、東三河スタートアップ推進協議会

<内容>

- ・スペシャルセッション「アトツギ・伝統産業×スタートアップ」地域を盛り上げる共創の方程式

(登壇者)

岩田 真吾氏 (三星グループ 代表)

西村 和弘氏 (有限会社エニシング 代表取締役社長)

古里 圭史氏 (株式会社リトルパーク 代表)

- ・プロジェクト発表「東三河スタートアップ推進協議会 地域課題解決プロジェクトピッチ」
- ・パネルディスカッション「スタートアップ + 地域課題 東三河の可能性を考えるカイギ」



## ②超異分野学会豊橋フォーラム【2022/12/17】

<共催> (株)サイエンス・クリエイト、(株)リバネス、東三河スタートアップ推進協議会  
<内容>

- ・研究者、ベンチャーによる超異分野ピッチ「テクノロジースプラッシュ」
- ・セッション1  
事業継承をきっかけとした製造業のトランスフォーメーション (西島株式会社)
- ・セッション2  
太陽・大地・藻類で作るサステナブル産業 (株式会社ユーグレナ)
- ・セッション3  
くらしと住まいの快適さを追求する 微生物との共生でデザインする空間設計 (サーラグループ)
- ・ポスターセッション (50社)



## ■その他のイベント

- ・イノベーターズvoiceX  
 <共催> MUSASHi Innovation Lab CLUE、(株)サイエンス・クリエイト、  
 (株)エムキャンパス
- ・共創コミュニティ創出支援事業  
 <主催> 豊橋市
- ・アグリテック実証支援事業  
 <主催> 豊橋市
- ・地域産業人材育成支援業務  
 <主催> 東三河広域連合
- ・AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM  
 <主催> 愛知県
- ・東三河ビジネスプランコンテスト  
 <主催> (株)サイエンス・クリエイト（東三河広域連合・豊橋商工会議所後援）

## (4) 令和4年度の運営経費について

令和4年12月の総会において、今後の本協議会の方向性を検討する上で運営に係る経費を可視化することについて承認を受け、それを取りまとめた。

【施設利用】		【HP/PR費】		【人工】	
内容	(単位：円) 金額	内容	(単位：円) 金額	内容	(単位：時間) 時間
総会	255,800	総会	0	総会	70
運営部会	0	運営部会	0	運営部会	379
8市町村	0	8市町村	0	8市町村	170
UPPERS	615,800	UPPERS	90,000	UPPERS	597
大学連携	0	大学連携	0	大学連携	174
共創	0	共創	0	共創	95
情報可視化	36,000	情報可視化	20,780	情報可視化	402
イベント	33,600	イベント	0	イベント	271
その他	123,400	その他	460,000	その他	445
計	1,064,600	計	570,780	計	2,602



## 5 全体の成果

本協議会の会員や東三河の事業会社を巻き込み、各プロジェクトが連携することにより、東三河でスタートアップ・エコシステムの形成に向けた取り組みが着実に進んでいる。また、どのプロジェクト活動も愛知県や「PRE-STATION Ai」と連携することで、スタートアップに対する情報発信が効率的かつ的確に実施することができ、全国から東三河に興味を持ってくれるスタートアップ、行政、事業会社、投資家なども増えてきている。加えて、各会員や支援機関が主催する事業と連携することにより、1団体ではできない「東三河」単位で得られる成果もあるなど、面での役割を果たすことができている。

## 6 今後の課題

令和3年度から、愛知県の広域エコシステム形成統括マネージャーの支援を受けながら手探りでスタートアップ・エコシステムの形成に向けた取り組みを進めてきた。このエコシステムの形成にはまだまだ多くの時間を要するため、これまでのプロジェクト活動については、内容を精査しつつ継続して活動を行うことが必要となる。そのため、東三河8市町村はもとより、愛知県や「PRE-STATION Ai」ともこれまで以上に連携するとともに、支援会員制度なども積極的に活用しながら、支援体制を強化していくことが必要となる。

また、本年度の運営経費を可視化したので、今後、本協議会として主体的に事業を実施するため、現在の協力体制や予算面の検討を実施していく。